

潮かせ

うしおかせ

<https://yorii.city-niigata.ed.jp/>

新潟市立寄居中学校 学校だより
令和7年4月7日（月）発行

教育目標

【生きがい 思いやり 自治の力】

令和7年度始業式での校長先生からのお話

緑濃く、花は咲き始め、鳥たちは大空を楽しそうに飛び回っています。地上にあるあらゆる生物が春の訪れを祝福しているようです。

ようやく気温も上昇し始めました。春の陽を体いっぱいには浴びながら、伸びやかに毎日を過ごせる喜びを感じます。うららかな日差しの中での令和7年度のスタートを心から嬉しく思います。

まずは、2・3年生の皆さん。進級おめでとう。今日から学年が一つずつ上がります。

3年生、いよいよ最高学年となります。中学校生活もあと1年間です。寄居中学校のリーダーとして、1・2年生にどのような言葉を残せるか、どのような姿を背中で語れるか。良き伝統の継承者としての行動を期待します。また、自分の力で新たな扉を開かなければならない時期でもあります。このことを十分に意識して学校生活を送ってください。

次に2年生、君たちもいよいよ「先輩」となります。今日の午後入学してくる新1年生に、寄居中学校の様々なことを教え導かなければならない立場となります。また、3年生からバトンを引き継ぎ、生徒会や部活動などで寄居中の新たなリーダーとして、寄居中を牽引していかなければなりません。それぞれの立場で昨年より大きな責任をもつことになります。しっかりと頑張ってください。

さて、今日は、新学期に当たり、皆さんに、「三つの意」のお話をします。

三つの意の一つ目は「熱意」です。「熱意とは、夢を実現するエネルギーとなるもの」です。中学校生活を納得できる形で過ごしていくためには、夢や目標の実現に向けて前向きに生きていこうとする「熱意」が一番大切です。より具体的に自分の達成したい夢や目標を掲げ、実現に向けて「熱意」をもって中学校生活を過ごしましょう。

二つ目は「創意」です。「創意とは生きていくために必要な知恵を生み出すもの」です。これから皆さんが生きていく上で、大きな壁にぶつかることもあるかもしれません。そんなときは違う見方や考え方をするなどしてみましょう。壁を乗り越えるために創意をもって知恵を出し、自分の夢や目標に向かって前進してください。

三つ目は「誠意」です。「誠意とは人の心の扉を開く鍵になるもの」と考えます。現代社会はこれまで以上にコミュニケーション能力が求められます。ネット環境の普及により人の顔を見ないで情報が行き交う時代だからこそ、誠意や真心をもって人に接することが大切だと思います。

皆さんは、すでに「三つの意」を学んできていると思いますが、これからは、今まで以上にこの「三つの意」を意識し、寄居中学校を盛り上げ、充実した中学校生活を送れるようにしましょう。

それでは本日より、225名による寄居中学校の令和7年度をスタートします。